

議題（2）

第7次行政改革大綱アクションプランの取組内容の変更について（諮問）

第7次行政改革大綱アクションプランについて、課題の変化、目標の達成状況などの実態に合わせて、取組項目のスケジュールや目標設定を見直します。また、日々変化する行政課題を的確に捉えた取組みとするため、適宜取組項目の追加を行います。

1 計画を見直す取組について

（1）会議の効率的な運営に関するルール化の検討

この取組は、長時間労働の抑制や仕事の効率化を目的とし、職場全体の生産性を高めるため、「会議の効率的な運営に関するルール」（以下、ルール）を検討、実施するものです。

当初の計画においては、令和3年度にルールを策定することとしておりましたが、実効性の確保が難しい等複数の意見があったため、計画どおりの策定には至っていませんでした。その後、コロナ禍による働き方の変化や庁内LANの整備等により、令和4年度からWEB会議室の施行実施を新たに試みたものの、取組みの最終目標であるルールの策定に至っていないことから、令和5年度上半期実績のヒアリングの結果、計画未満といたしました。

変更内容

現在進められている庁舎整備に合わせ、全庁LANシステムの再整備等をはじめとする執務環境の変化が見込まれることから、庁舎整備が完了する令和6年度までにルールを策定し、速やかに運用開始するよう見直します。

また、これまで実施してきたWEB会議の試行運用については、令和5年度中にWEB会議の利用状況等に関する調査を実施しており、この調査結果を踏まえ、効率的な会議運営に有効なツールとして積極的に活用することを推進してまいります。

資料 2

アクションプラン (案)

No.	取組項目	担当部署	関係部署	年度計画					
				R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
変更前 ①	会議の効率的な運営に関する ルール化の検討	総務課		検討、 試行	ルール案 の検討	Web会議等 の試行実 施	→		
変更後 ①	会議の効率的な運営に関する ルール化の検討	総務課		検討、 試行	ルール案 の検討	Web会議等 の試行実 施	→	ルールの 策定、 運用開始	ルールの 運用

個票 (案)

改革の柱	Ⅲ	行政運営の推進力となる職員や職場環境の充実を図るための改革
推進項目	1	全庁共通事務の効率化
項目名	(1)	庁内会議等の見直し

2 取組みの内容

取組期間内の目標	取組期間
ルール案の提示、試行実施	令和2年度
ルール案の検討	令和3年度
庁舎整備に伴ったWEB会議の試行実施	令和4年度
WEB会議試行運用の課題抽出	令和5年度
ルールの策定、運用開始	令和6年度

3 取組みの進捗状況

年度	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
計画概要	<ul style="list-style-type: none"> ルールの再検討 WEB会議試行運用の課題抽出 	<ul style="list-style-type: none"> ルールの策定 庁内調整 ルールの運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> ルールの運用
変更前計画	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎整備に伴ったWEB会議の試行実施 上記試行による課題の抽出 	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎整備に伴ったWEB会議の試行実施 上記試行による課題の抽出 	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎整備に伴ったWEB会議の試行実施 上記試行による課題の抽出

資料 2

2 新規に追加する取組について

(1) AI等を用いた業務改善手法の検討

今般、文章や画像などのデータから新たなデータを生成する機能を持つ新たな情報技術である生成AIが登場し、官民間問わずその有用性が期待されています。

本市においては、多様なニーズに対応する住民サービスを展開しておりますが、今後人口減少を受けた職員数減少が見込まれる中で、住民サービスを向上するための取組が求められています。

追加内容

従来から利用しているツールと併せてAI等の新しい技術を利用することにより、従来の事務作業時間を軽減することを目的として、AI等を用いた業務改善手法を検討します。

アクションプラン (案)

No.	取組項目	担当部署	関係部署	年度計画					
				R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
⑤	AI等を用いた業務改善手法の検討	行政管理課					随時実証、 調査・研究		

個票 (案)

改革の柱	Ⅱ	限られた行政資源でニーズに応え続けるための改革	
推進項目	2	新しい技術を活用した事務改善	
項目名	(1)	RPA、AI、民間委託の導入を見据えた事務フローの見直し	
2 取組みの内容			
背景、目的			
<p>国において定められた自治体DX推進計画において、重点取組項目である「自治体のAI・RPAの利用推進」や全国的な自治体業務へのAI活用に向けた動きを踏まえ、本市においてもAI等技術の導入について検討する必要性が高まっている。導入にあたっては、リスク、費用対効果の視点、職員の情報リテラシー向上等を含めた検証を要する。</p>			
内容、進め方			
<p>生成AIを始めとしたAIの業務利用が事務処理の効率化や職員の事務負担軽減に効果があるか継続的な検証等を実施し、導入について検討する。</p>			
取組期間内の目標		取組期間	
・ 随時実証		令和5年度～令和7年度	
・ 調査、研究		令和5年度～令和7年度	
3 取組みの進捗状況			
年度	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
計画概要	<ul style="list-style-type: none"> 随時実証 調査、研究 	<ul style="list-style-type: none"> 随時実証 調査、研究 	<ul style="list-style-type: none"> 随時実証 調査、研究